

読むと正親のまちが♡好き♡になる

せい しん がっ く

正親学区ニュース

上京区社協が発行する、コロナ禍における学区内の動きをお伝えするニュースです。

No.2



Feb.2021



正親学区のまちづくり活動について 教えて、会長さん！

今回は、正親住民福祉協議会 尾崎 富美雄 会長に、コロナ禍中・コロナ禍後のまちづくり活動について、上京区社協職員がお話を伺いました。



◎コロナ禍中のまちづくり活動について

大切にしていることは、「なんでもコロナのせいにするな。コロナ禍にあっても、工夫してできることを考えよう」。

昨年10月20日にエコ学区サポートセンターとの協働事業を行いました。今後も定期的な開催を目指しています。

正親小学校が5年生の防災教育に力を入れています。令和2年度は、上半期に休校でできなかつ

た分、下半期に70時間のカリキュラムが組まれていて、住協も協力しています。

介護予防の教室・健康すこやか学級で、食事の提供ができないのはつらいね。参加者のみなさんは、食事を楽しみにきてくださっています。コロナ禍が終わったら考えたいですね。

◎コロナ禍後のまちづくり活動について

学区重点目標の進捗については「100点」。予想以上に進みました。やはり、正親学区の組織

力が推進力ですね。

上京区の第4期地域福祉活動指針にもとづいたまちづくり活動、これを実現するためには民生や老福、自主防など各団体ともっと密接に連携していく必要があると感じます。また、「ボランティアがいかに楽しいか」を前面に出して魅力を伝えないと、誰もまちづくり活動に参加したいと思わないんじゃないかな。

単発のイベントをやるのは簡単。持続できるか、

こういった効果があるか、きちんと検討してからやるようにしています。

麻雀教室は介護予防に役立つだけでなく、災害時の安否確認にも役立ちます。麻雀を通して顔なじみになるからね。実際、今まで地域に参加できなかった男性陣がつながれるようになりました。

あと3年で会長歴10年。2年に1度のペースで、新しいことを企画して実践したいです。それができなくなったら会長を降りようと思っています。惰性でやっても住民のためにならないからね。

まちづくり活動の内容は、コロナ禍の状況により変更となる可能性があります。

最新の活動は、上京区社協 (Tel:432-9535) までお問い合わせください。

反対側の面も、ぜひご覧ください！



正親学区では、3密や衛生面に気を配りながらまちづくり活動が行われています。

